

9月になりました。こよみの上ではしっかり「秋」ですが、残暑も厳しい週でした。さて、先週の金曜日(8.28)は、火災を想定した避難訓練を行いました。毎年実施している訓練でもあり、なかまのみなさんは落ち着いて避難することができていました。年々、自然災害が増えており、今年は梅雨の水害があったほか、猛暑も「災害レベル」と言われています。地球温暖化の問題や、プラスチックごみの海洋汚染なども大きく取り上げられています。そして、ここに重なっているのが新型コロナウイルス感染症です。これらは、これまでの人類と自然との関係を見直すべきだという、「神様からのメッセージ」かもしれない…と感じています。

学生さん2名が、実習中！

…若い力で、なかまと一緒に作業に汗を流しています

現在、社会福祉士の資格取得のための実習として松本大学の丸山輝さんと、作業療法の臨床実習として、信州大学の石塚未悠さんの2名の学生さんが来ています。

おふたりとも、猛暑が続くなか、一生懸命実習に取り組んでおられます。

丸山さんは9月10日まで、石塚さんは9月25日までの長期実習です。最初は緊張していましたが、次第になかまとも打ち解けて、先日お伝えした加工トマトの収穫でも力を発揮してくださいました。

なかまのかかわりでは、私たちに初心を思い起こさせてくれると感じています。このように将来の福祉・医療の人材育成に貢献したいと考え、学生の受け入れをしています。今年は新型コロナ対策を徹底



(デイリーノート記入中！)

しながら、実りある実習になるよう、なかまのみなさんの協力で実習が進んでいます。

